

TOTO



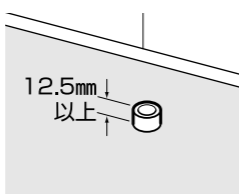
ハイドロセラ・フロアPUS

施工説明書

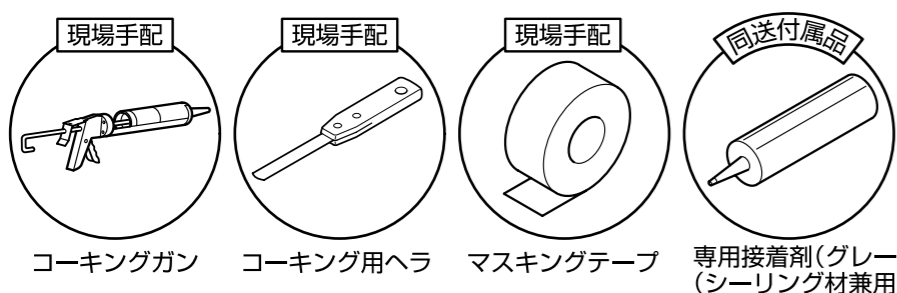
製品の機能が十分発揮される様に、本書の内容にそって正しく取付けてください。

施工の前に

- 下地の不陸は「ハイドロセラ・フロアPUS」1枚の範囲で2mm以内。
- 「ハイドロセラ・フロアPUS」を設置する床面は付着物が無いように清掃し、乾燥させた状態で施工する。
- 長尺シートや既設タイル張りの上からも施工可能。
- 床置小便器用の場合「ハイドロセラ・フロアPUS」の厚さを考慮し、FLより12.5mm以上立上げてください。
- 床置小便器用の場合、給水位置が12.5mm高くなります。



使用工具・材料



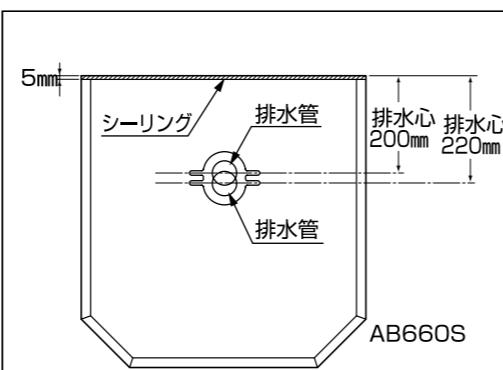
※ 接着剤には必ず同送の「専用接着剤」を使用すること。

⚠ 注意：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

腰掛小便器用のバックには直接触れない
● カット面となっており、取扱いの際にケガをする危険があります。

床置小便器用は既存のフランジをそのまま利用することができない
● 漏水の原因となります。



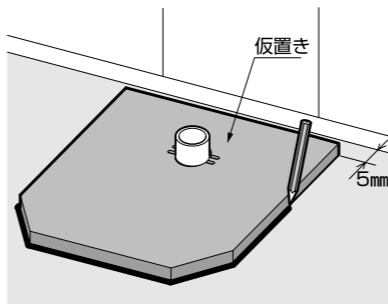
光触媒製品の性能表示について

商品名	ハイドロテクト内装タイル及び内装セラミックパネル (大型陶板)		
(1) 光触媒等の種類	酸化チタン、銀、銅		
(2) 光触媒等加工部位	タイル表面		
(3) 光触媒等の効果	1. 測定方法はJIS R 1702に準拠しました。暗所での抗菌効果の確認はJIS Z 2801で確認しました。		
2. 抗菌効果及び試験条件	抗菌効果*1	大腸菌	抗菌活性値は4.6
		黄色ブドウ球菌	抗菌活性値は2.6
	試験条件	紫外線強度0.25mW/cm ² (この条件は昼間の窓際に相当します)	
(4) 使用できる場所	本製品は暗所でも銀、銅による抗菌効果を発現します。昼間の窓際では、光触媒の働きでより強い抗菌効果を発現します。		
(5) 安全性	急性経口毒性試験、皮膚一次刺激試験、変異原性試験について、光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。		
(6) 使用上の注意	表面に汚れが付着していると、十分な抗菌効果が得られませんので、定期的な清掃をお勧めします。		

*1 光触媒工業会の認証基準は抗菌活性値が「2.0」以上であり、照射による効果が「0.3」以上です。抗菌活性値が「2.0」とは、抗菌効果により菌数が1/100に、「4.0」とは抗菌効果により菌数が1/10000になることを表します。また、照射による効果「0.3」とは光を当てていない条件の菌数に対し、照射により菌数が半分になることを表します。

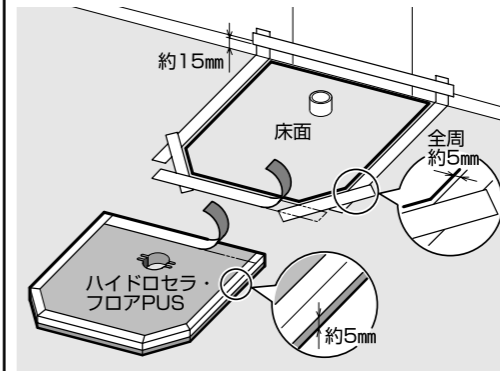


1.マーキング



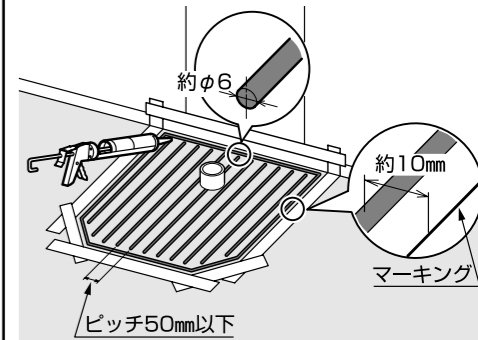
床置小便器用の場合、排水管の位置に合わせて「ハイドロセラ・フロアPUS」を仮置きする。外形に沿って床面にマーキングする。

2.マスキングテープ貼り



「床面」と「ハイドロセラ・フロアPUS」の両方にマスキングする。

3.接着剤塗布



接着剤を床面にコーキングガンで塗る。接着剤には必ず同送している「専用接着剤」を使う。

4.ハイドロセラ・フロアPUS貼付け

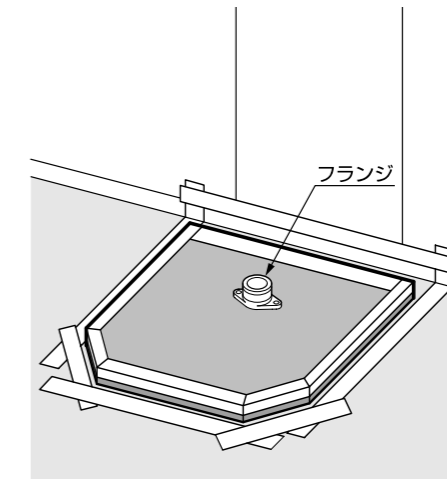


体重をかけてしっかり押さえ付ける。

注意

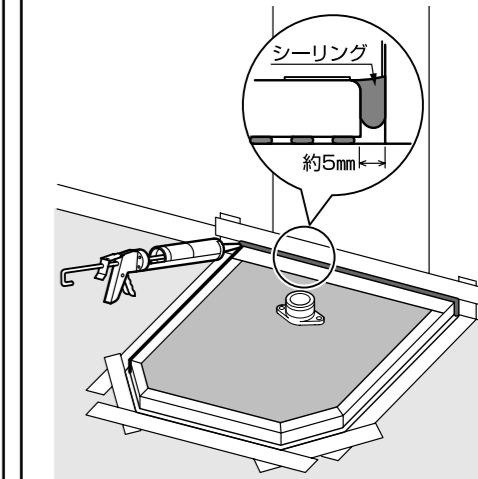
● 床置小便器用の場合は便器設置後に「ハイドロセラ・フロアPUS」が沈み込み、漏水の原因となります。

5.フランジ取付け



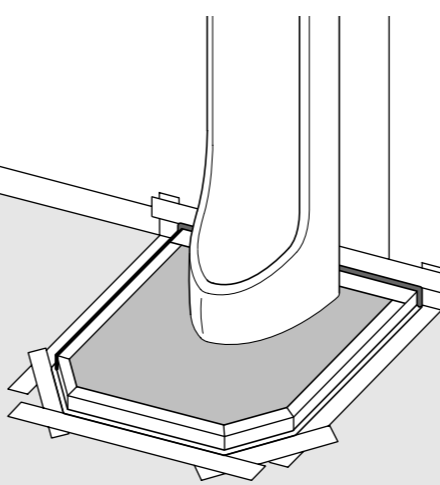
フランジを床にしっかりと固定する。ビスのしめすぎに注意してください、フロアPUSが割れる恐れがあります。

6.壁との取合シーリング



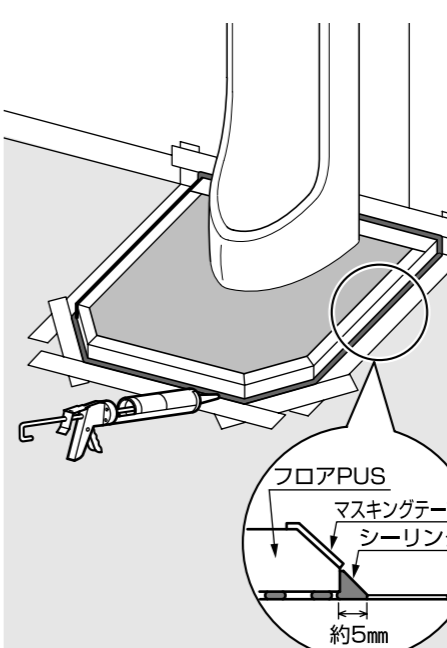
シーリングを塗布した後に、「コーキング用ヘラ」で押さえる。シーリング処理には、同送付属の「専用接着剤」が使用可能です。

7.小便器取付け

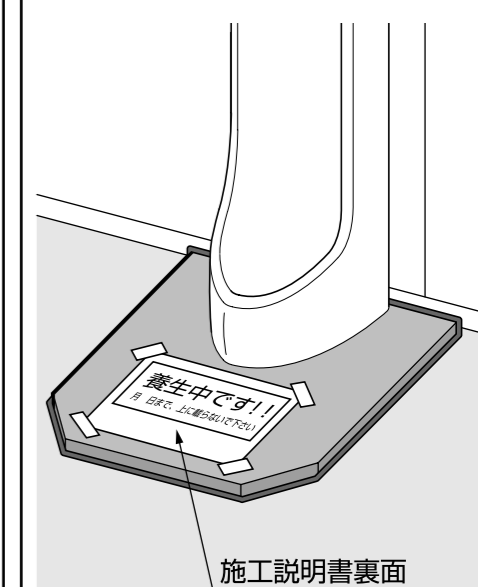


小便器設置の際は割れに注意して、ゆっくりと置いてください。
※ 床面に排水勾配がついている場合、小便器と「ハイドロセラ・フロアPUS」との間にスキ間が生じる場合があります。白セメントやシーリングなどで処理してください。

8.床との取合シーリング



9.養生



マスキングテープをはがして接着剤が硬化するまで養生する。(目安：夏期1日、冬期2日)

養生中です!!

月 日まで、上に載らないで下さい。

施工店様へ

この紙を施工後、ハイドロセラ・フロアPUS
の上に貼って下さい。

養生日数は夏期1日、冬期2日が目安です。